

NEWS LETTER



NO.41

2012.7.20

にほんごひろば岡本

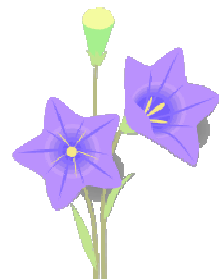
発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

「風」



しばらくの間、母の看護、介護に専念していたため、皆さんに会うのは年末のお楽しみ会のスピーチコンテストの審査の時ぐらいでしたが、今回、副代表兼教育研修担当として「ひろば」に復帰しました。母は昨秋、満月の日に九十歳で他界しました。歳に不足はありませんが、母親に死に別れた少女の気持ちをうたった童謡の「十五夜お月さん かかさんに も一度わたしは 逢いたいな」（野口雨情作詞、本居長世作曲）という一節が心に沁みます。最後の数か月、何人かの訪問看護師さんと接して、文字通り温かなお手当と、人を不安にさせない穏やかな笑顔に助けられました。もちろん彼女たちはボランティアではありませんが、職業的な笑顔でなく心からの優しさはプロとしての個々の技術の優劣を超えて相手に届くのだと感じました。

さて、復帰にあたって先日「ひろば」の総会で“教育研修担当”として、これからどんな研修を望んでいるか聞いたところ「発音指導」、「ゼロ初級の文字指導」などの声が上がりました。これは以前にも取り上げたことのある項目です。それに対して私は「発音矯正も大切だけれど、それぞれのお国訛りのある日本語に寛容になること、それを許容できるようになることが私たちに求められているのではないのでしょうか」とコメントしました。地域日本語教室がミニ日本語学校にならないように、日本語学校と違う価値観を共有する場でありたいという設立当初からの思いもありました。しかしコメントしながらこの既視感のあるやりとり、息苦しい空気はなんだろうと、心にひっかかるものがありました。

その原因が私の質問の仕方にあると気がついたのはそれからだいぶ時間がたってからです。「どんな研修を望んでいますか」という質問の仕方では「〇〇のやり方を教えてほしい」としか答えようがありません。教える側から教えられる側へという“学校型”の一方通行の知識伝授。空気が淀んでいると感じたのはその私の質問のせいだったのです。

ステップアップ講座は従来通りとして、「教育研修」というなんだかお堅い学校みたいな看板は下ろします。私の役目は「ひろば」に外からの風を吹き込むこと、それがすき間風でも強風でも。最初の企画は「年少者の日本語教育」です。東灘の「こうべ子どもにこにこ会」で多文化的背景の中で生きる子供たちを相手に地道な活動をしている田代奈緒子さんに話してもらいます。皆さんと一緒に笑顔あふれる風通しの良い「ひろば」にしたいと思います。（下田美津子）

学習者紹介

★ポリヌ・ヴィオレッタ・マソンちゃん
(フランス出身)

友だちもたくさんできました

私をご紹介しますのは ポリヌ ヴィオレッタ マソンちゃん (17歳) です。

フランス出身で、2011年9月に神戸へ来ました。初めてにほんごひろば岡本に来たとき、緊張もあり日本語で挨拶するのが精一杯でしたが、今年の春から日本の高校に入学するほどの大成長を遂げました！(現在、高校3年生です)

努力家のポリヌちゃんは日本語の勉強に対して非常に熱心で、いつも新しい言葉、表現、漢字などをノートにびっしり書いて持ち歩いています。最近では日本語の勉強だけにとどまらず、日本の習慣やしきたりなども積極的に学んでいるそうです。持ち前の明るさと人懐っこさであっという間に日本の生活に慣れ、友達もたくさんでき、今では神戸が大好きになったそうです。



日本語以外にフランス語、英語、スペイン語を話すことができるポリヌちゃんの将来の目標は「語学力を生かした仕事をする事」だそうです。いつも前向きで、何事に対しても真面目に取り組む彼女と一緒にいると、私も頑張らなきゃ！という気にさせられます。かわいい妹のような存在(←厚かましい？笑)のポリヌちゃん、これからの成長がとっても楽しみです。
(佐柳 有理)

★イワノフ・ユーリーさん
(ウクライナ出身)

最初の先生は奥さん

彼は去年の1月末に来日し、3月から「ひろば」で一緒に学習しています。とても背が高く、身体も大きいのでちょっと怖そうに見えるかもしれませんが、とても明るくまじめでチャー



ミングな好青年です。

ユーリーさんは「ひろば」に来る前に日本語が上手なウクライナ人の奥さんから習って、ひらがな・カタカナは読み書きができるようになっていました。ただ、私はロシア語が全くできないので、はじめはロシア語版文法解説に頼りっきりになってしまいました。それでも少しずつ分かる日本語が出来てくると、一生懸命話してくれました。そのころから学習の時間には、いろいろと楽しい話をしてくれたりジョークを言ったりと、いつも笑いが絶えませんでした。

日本に来てびっくりしたのは治安の良さだそうです。春に花見に行った時、酔っ払いが財布の中のお金をばらまいていたけど、だれも盗ったりせず、警察も「はいはい、行きましょね」と、とても優しい姿を見て驚いたそうです。ウクライナでは悲しいけど、そういうことはあり得ないということでした。日本や日本人がとても好きだと言ってくれるのはとてもうれしいですね。

9月からはYWCAの日本語コースに通い始め、

『みんなの日本語』を使って学習をしていましたが、クラス授業はとても早いため「ひろば」ではゆっくり復習をしながら練習もしています。

今年の1月からは昼間は食品工場で働き始め、リーダーに「イワちゃん」と呼ばれ頼りにされているようです。そして3月からはロシア料理レストラン「バラライカ」で夕方からも働いています。彼は料理がとても好きで、将来は店を開きたいという夢があるので、料理の勉強になるようにと「バラライカ」の厨房の面接に行ったのですが、オーナーにルックスがとても気に入られホールで働くことになったそうです。

先日私は「バラライカ」に行きましたが、そこで「少々お待ちくださいませ」などというしっかりした敬語を話すユーリーさんを見て感動しました。また、持ち前のサービス精神と人当たりの良さでお客様にも気に入られ、いろいろ話しかけられ「うちに遊びに来て」と誘われることもあるそうです。

一度話したら彼のよさがすぐに分かってもらえる。そんなユーリーさんに皆さんもぜひ会いに行ってください。（泉 尚子）

★クルッキ・アンドレア・サカタさん
（ブラジル出身）

漢字を勉強中です

はじめまして。昨年10月から「にほんごひろば岡本」に通っています。

今年で19年間、日本におります。その期間はちょうど、私の半分の人生になりました。

はじめに日本に着いたとき、新しい事とおもしろい事がよくありました。たとえば、スーパーに行ったとき、「切りもち」を見て、「ココナツ石けん」だと思いました。そして買って、服を洗おうとしました。今思うと、おかしい事を



したと思います。

今、ブラジルに帰った時、人とぶつかると頭をさげて「すみません。」と言います。

昨年にYWCAで4カ月間日本語をならって、11月にネイルスクールに入学し、ネイリストの1級レベルを目指しています。

子どもも3人います。3人とも日本で生まれ、日本の学校へ通っています。

漢字が読めないのので、学校からの手紙がわかりません。こまります。

そのためにも、漢字をちょっとずつ勉強をしています。これからも よろしく願いいたします。

支援者紹介

★明里悦子さん

アンドレアさんとは、昨年10月から学習しています。（上の写真）

いつも、センスが良く、スタイルの良さを活かしたファッションで、いつも颯爽とやってきます。

在日19年のベテランですので、日本語に関して、何ら困る事は無いとおもいました。しかし、自分のスキルアップのために漢字習得を含めて『みんなの日本語Ⅱ』を学んでいます。

昨年末には、ネイルアートの資格試験に合格し、あの難解な医療用語（すべて漢字）が、よく理解できるなあ・・・と感心しています。

次はワンランク上のネイルアート資格とN3の試験合格を目指してがんばっています

一言で言えば「よく がんばってはりますねえ」ですが、子ども3人を育てながら、父親・夫の世話をし、慣れない日本での生活は、さぞや苦勞の連続だったと思います。

いつも“しゅっ”とした 彼女の端正な佇まいから、その苦勞を窺うことはできませんが、ひろばで会う度に、自分の生き方も正される思いがします。

★前田美帆さん

みなさん、こんにちは！

今年の5月からお世話になっている前田美帆です。

私は、「大阪育ち大阪勤務」の根っからの大阪人で、現在は神戸市に住んでいます。

「にほんごひろば岡本」にお世話になるきっかけは、「友達作りも兼ねて何かしたいな～」。学生時代にしていた日本語教師のボランティアがいいな」と思い、区役所で紹介いただきました。最初は兵庫県に来て間がなく知り合いもおらず少し不安でしたが、ひろばの皆さんが、明るく迎えてくださった事が凄く嬉しかっ



たです。

現在は、ベテラン支援者の方に学習方法等を相談→学習者に支援内容の確認・学習→授業後の一人反省会・ベテラン支援者に相談、をしながら進めています。

まだまだ「ひよっこ」の私ですが、「学習者が求めているもの」を考えながら、一歩ずつ進んでいきたいと思います。

これからも、どうぞよろしく願いいたします。

★佐藤美絵さん

ホワン・チュンさんと2月から勉強している佐藤です。

日本で半年、中国で1年2カ月、日本語学校で教師として働いたあと、2年前に帰国しました。

ボランティアグループを探してひろばを見つけ、今年の2月から仲間に入れてもらっています。



外国の方にとっては、日本語の微妙なニュアンスに戸惑うこともあるでしょうが、ことばは使えてナンボです。恥ずかしがらずにどんどん使って間違えて、覚えてほしいと思います。

チュンさんがたくさんのことばを身につけて、日本滞在の数年間が有意義だったと感じてもらえるよう、お手伝いをしたいと思います。



新しい仲間ぞくぞく

2012年を迎え、ひろばにたくさん学習者や支援者がやってきてくれました。グループ毎に紹介しましょう。

神戸松蔭女子学院大学の学生ボランティア3人娘！！

神戸松蔭女子大学の一回生、新人支援者、ほんとうにフレッシュな三人のお嬢さんをご紹介します。森あかねさん、仲島彩さん、永吉真由さんの三人です。大学では、日本語日本文化学科で現代日本語を勉強しています。

どうして日本語のボランティアをしようと思ったのですか、と聞きました。「日本語教師になりたいです」「日本語を外国から来た人に教えることに興味があります」「楽しそうだと思いました」という答えでした。にほんごひろばでボランティアをしていると、文化や習慣の違いがわかっておもしろいし、いろいろな質問をされるので勉強になるそうです。ふだん意識しないことを聞かれるのでむずかしいですが、それも刺激になり楽しいようです。



お互いの紹介をしてもらいました。

森さんは、やさしくて話しやすく、「これからいっしょにがんばろー！」と力をくれる人だそうです。永吉さんは、優しくてしっかり人の話を聞いてくれる、頼りになる人だそうです。仲島さんは、三人の中で一番背が高いのですが、クールでリーダータイプの人だそうです。三人とも魅力たっぷりですね。

日本語を勉強している方たちが、日本の文化に溶けこもうとしている姿に、感激している三人です。

とてもかわいらしいこのフレッシュマンを、みなさんよろしく。

by 小澤

※写真は留学生の強い希望で5ショットになりました。3人娘左から仲島さん、永吉さん、森さんです。

神戸大学留学生 From China 4人衆！！

★劉 鵬 (リュウ ポン) さん

劉さんは大学院生です。大学ではT A (Teaching Assistant) として教授のお手伝いをしているそうです。なんと英語で・・・！！中学、高校、大学で少しの約8年間、私も英語を勉強してきましたが未だ日常会話すらまともにできません。頭が下がります・・・。

劉さんは日本語能力試験のN2合格のために日々勉強に励んでいます。しかしN2は難問が多く、毎回授業では疑問の嵐です。

今回「調べてみました」で出た疑問も劉さんから出たものです。(12 ページ)

中国出身ということで漢字を見て大体の意味はわかるのですが、はっきりしない日本語独特の表現は苦手のように「なぜ？」「なにが違いますか？」「難しいねー」が口癖のようになってしまいました。向上心あふれる優秀な学習者さんです。同じ学生である私も見習わなければ・・・！といい刺激になっています。

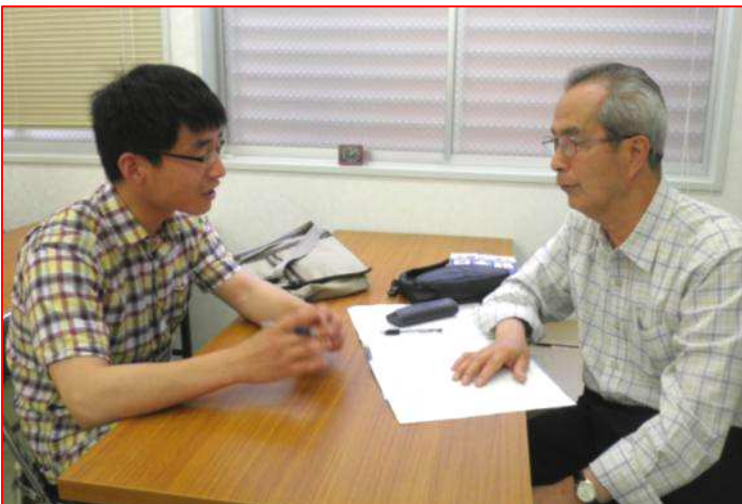
さらに劉さんは「くら寿司」のお皿洗いのアルバイトもしています。これはなかなか重労働らしく、特にお客さんの多い土日と祝日は大変だそうです。

学校とアルバイトが忙しいのでひろばのイベントにはなかなか参加するのが「難しいねー」だそうです。少しでも多くのイベントに参加して多くの人と交流してほしいと思います。真面目で優秀、だけどとってもユーモアがある劉さん。これからも一緒に勉強していきましょうね！！

by 山本



★李 延濤 (リ ヤンタオ) さん



中国から2010年10月に来日した神戸大学海事科学部の留学生です。

日本語は留学生センターで6カ月間「みんなの日本語」で勉強したのが基礎となっており、今では日常の会話はほぼ出来ます。

2012年3月からにほんごひろばで勉強を始めました。その目的は、語彙を増やししながら、日本語らしい言いまわし(文法)に通じることによって、大学の講義、日常の生活、そ

して日本の文化の理解に活かしていくことと考えています。

サッカーの観戦が好き。大学の体育館で友達とバスケットに興じることもあります。楽しみは旅行で、これまでに東京や奈良を観光してきました。

日本語の学習では、理解力に優れ、その学習スピードに支援者がたじたじとなることが少なくありません。将来は中国の海事関係の大学で教育・研究に打ち込みたいという展望をしっかりと持っている頼もしい青年です。
by 大西

★陳 辰 (チン シン) くん

陳くんは上海海事大学から神戸大学の海事科学研究科に留学中です。

今回ひろばに来た中国の留学生の中では一番年下でやんちゃな弟分といった感じです。

日本語は中国にいる時に留学生のための講義を受けていたそうで現在は中級のテキストを使用しています。



陳くんが最初のレッスンの日、彼は手ぶらでふらっとやってきました。それを見たSさんに「あんた手ぶらかいな！」と一喝され思わず私が「すみません！」と謝り（なんで私が？）

意味がわからずぼかんとしている彼に私が「手ぶら」の意味と勉強するときの態度について教えました。従って彼がひろばで最初に覚えた日本語は「手ぶら」です。

2回目のレッスンの時にまた手ぶらで来たので私が「手ぶらか・・」と言うと彼はにっこり愛嬌のある顔でズボンのポケットから小さいノートとペンを取り出しました。

一見ぶっきらぼうで「勉強する気あるんかいな？」と心配だったのですが、いざレッスンが始まるとなかなか熱心でよく質問をします。「唇（くちびる）」の「びる」は何と言う意味ですか？「だいじな」と「たいせつな」はどう違いますか？なかなか難解な質問が続きます。

日本語や日本文化を学ぼうと思ったのは中国にいるときTVで和服や茶道のことを知ったのがきっかけだそうです。

彼のいいところは積極的に日本語を使う機会を増やしていることです。今年の3月に大学から東北の被災地へボランティアに行きました(2008年中国四川省の大地震での日本の救援隊の活動が記憶に新しかったそうです)。そこで被災地の人々や一緒にボランティアに行った日本人学生と友達になりました。

また大学の日本人学生と飲み会をしたりサッカーや野球を楽しんでいます。

ひろばでは彼のレッスンに松蔭のお嬢さんにも参加して頂いたり（彼は嬉しそう・・もちろん私も少し・・）、前述のSさんにも2回ほどレッスンをお願いして(言葉使いを厳しく指導頂きました)私以外のひろばの人々ともコミュニケーションしています。

少し余談になりますが陳くん以外にも私が所用などでレッスンが出来ないときは極力だれか

他の人にピンチヒッターをお願いしています。後で感想を聞くと（学習者・支援者に）いつもの私とは全く違った雰囲気や視点からレッスンが進むので学習者には大変新鮮に感じられるようです。勿論私にとって参考になることもあります）

陳くんが日本に来て感じたのは日本人は電車の中でのマナーが良く、本を読んでいたりと、喋っていてもとても静かだそうです（私は最近の日本人のマナーについて少々？のところを感じていたので少し安心しました）。

彼は日本語が上手になるために日本人といっぱい話したいと思っていますので、皆さん彼の顔を見たら気軽に声をかけてやって下さい。ご協力宜しくお願い致します。 by 宮武

★趙 舟（チョウ シュウ）さん

出身は無錫、上海の大学院の修士課程を終え、神戸大の博士課程の院生です。“熱流体力学”というとても難しい研究をしています。研究室には日本人学生はいないので、もっぱら英語でコミュニケーションを取っているようです。

将来設計もしっかりしていて、日本企業への就職を希望しているので、ビジネスマンとしての日本語力を付けたいそうです。

本来、神納さん（写真右端）が担当支援者なのですが、仕事の都合で6回ほど、ピンチヒッターと一緒に勉強しました。



あるレッスンの土曜日がちょうど中国の端午の節句の日にあたり、その由来の話になりました。歴史にも詳しいのですが、その日に食べる粽（ちまき）の形が日本とは違い、その作り方から料理の話になって、彼は寮でちゃんと食事を作っているようで感心しきりでした。

学校では研究者として、ひろばでは文法の勉強を熱心に行っている少々硬い彼ですが、七夕まつりの時、女子大生ボランティアさんたちと浴衣姿の写真を撮ってほしいと、積極的にアピールしてきた時は、何だかホッとしましたよ。

子供の時は“ドラえもん”が好きだったそうです。

短い間でしたが、とても楽しいレッスンでした。これからは神納さんとビジネスマンとしての研修を積んで下さい。 by 井畑

企業研修生 From Vietnam 4人組！！

★ホワン・チュンさん

ホワン・チュンさん 21歳、ベトナムの好青年です。ともに来日した同僚たちと日本の企業で技術研修を始めたばかりです。

日本語学習歴は短いようですが、これまで学習したことについてはよく理解できていて、とても教えやすい学習者です。まだ会話が充分ではないので、彼が聞きたいことを理解するのに四苦八苦することもあります。疑問点を曖昧にしない態度にいつも感心させられます。

20代で結婚、40代で自分の会社を立ち上げるといふ彼の夢は、その持ち前の明るさと真面目さで必ず実現してくれるものと期待しています。

最後に、前回勉強したばかりの「命令形」と「禁止形」を使って、私からのエールを。「がんばれ～！」「負けるな～！」(チュンさんは写真左端) by 佐藤



★チャン・ヴァン・クオンさん

チャンさんは、昨年の10月来日、今年の1月から土曜日に、私と学習しています。

ベトナムでは、『みんなのにほんごⅠ』を終了したとのことで、私との学習は、Ⅱから始めています。

大変勉強熱心で、ベトナム語訳の文法書で予習してきて、重要事項はノートにまとめています。

プラスチック工場の3交代勤務のため、朝8時半の勤務の終え、そのまま寝ないでひろばに来る事もよくあります。そんな時も欠伸(あくび)ひとつせず、一生懸命勉強している姿には、頭がさがります。

ベトナムに帰ったら、いつか日本語の先生になるのがチャンさんの夢、チャンさんの夢がかなうよう、お手伝いできればと思っています。

by 橋本

★チュ・ヴァン・クオンさん

日本に来る前にもしっかりと日本語を勉強していたので、初めて会った時には既に平仮名や片仮名だけでなく、大抵の漢字を読むことができました。

日本に来てからの毎日の仕事は本当に忙しそうですが、そんな中でも時間を見つけて自習を続

けているので、私の支援は必要ないのではとさえ思えるくらい、日本語学習のためのペースが出来ています。これからも、どんどん上達していくことでしょう。

チュさんには、日本に沢山の友達があります。その友達を訪ねながら、日本各地に出向いているようです。夏休みには東京に行きたいと言っていたので、友達との予定が合い、旅行を楽しんでもらえたらと思います。新幹線だけではなく、夜行バスや、夏休み期間ならば在来線でも安い金額で東京に行くことができる話をしました。もっといい案をご存知の方がいらっしゃいましたら、チュさんにアドバイスをお願いいたします。



チュさんと将来の夢について具体的に話したことはありませんが、機械の設計が好き

ということでした。学習中に一度、ひろばにあった置時計を設計図に直してもらいましたが、短時間で完成したきれいな設計図に感動したことを覚えています。将来は、大好きな設計に係る仕事ができたら、私も嬉しいです。

毎週、土曜日の10時からひろばで勉強をしています。初めて会った人にも優しい笑顔で話しかけてくれるチュさんを、これからも宜しくお願いいたします。

by 湯地

★グエン・ヴァン・ツイさん

名前はDuy ツイ(ズイ)と読むのが正しいとのことである。最初はデュイさんと呼んでいたが彼から指摘があった。



彼はベトナムから技術研修で大阪のプラスチック工場働いている。ベトナムの若者4人組の一人である。

2012年2月に来日。やっと日本の生活に慣れたころでしょうか。いつもニコニコ笑顔がすばらしい好青年である。少しシャイ

で話すのが得意とはいえない。一般的な若い男特有の口下手なので 自分の若いときを見ているようで 非常に親近感を覚える。

勤務は 3 交代ではあるが週末は休みなので充分日本の生活を楽しんでいるようで安心している。会社では日本語を使う機会がそんなになく、私生活では 4 人仲間がいてベトナム語を使うので日本語の必要性があまりない。話すことが少なくて語学が上達するか？ 使わないと上手になれないことが今さらながら分かったような気がする。

「日本の英語教育が悪いから 日本人は英語が話せない」というのは間違いで「英語を学校で勉強しても使わないので日本人は英語が話せない」が正しいと思う。

教室では彼は懸命に話そうとがんばってくれるので、今は復習しながらレベルアップを図っている。まだまだ彼は日本語の勉強を始めたばかりだから、これからである。

ズイさんはかわいい青年ですから教室で見かけたら ぜひ、みなさん話しかけてやってください。よろしくお祈りします。

by 佐々木

日本企業で働く真面目な二人 From China !!

★趙志強さん・宋明春さん

お二人とも今年の 3 月に日本に来られ、4 月からひろばで勉強されています。

趙さん（写真中央）も宋さんも日本の商船系の会社で働いていて、午前中は会社で仕事をし、午後は日本語学校で日本語を勉強されています。

そして、今ひろばでは『みんなの日本語』を使って勉強しています。



毎週勉強の時にどんな 1 週間だったかお話をするのですが、仕事に勉強にととても忙しい毎日だそうです。そんなに忙しい毎日でもお二人ともとても勉強熱心で、まだ日本に来て 3 ヶ月しか経っていないのに、驚くほど日本語が上手になりました。そして、勉強していて分からなかったところはどんなことでも質問してきてくれます。

そんなお二人の最近一番楽しかったことは、会社の方たちとみんなで食事に行ったことだそうです。会社の方もとてもいい方ばかりだそうで食事本当に楽しく、夕方に始まった食事はなんと夜中の 3 時頃まで続いたという話をしてくれました。そして、今会社が貸してくれているシェアハウスのようなところで趙さんと宗さん、あとは会社の方数名と一緒に住んでいるそうで、この生活もみんながいるからとても楽しいと言っていました。

本当はお二人とも神戸周辺や大阪、京都などいろいろ行きたいところがあるのにまだ全然行けてないので日本にいるうちにたくさんのおところに行きたいんだそうです。

勉強熱心で真面目な趙さんと宗さん。これからも仕事も勉強も頑張ってもらいたいと思います。そして、少しでもお二人の日本での生活の手助けができればと思います。

by 園田

みんなのひろば

「にほんごひろば岡本」2012年度 第13回総会・支援者交流会

第13回総会が6月2日（土）に開催されましたので簡単に報告いたします。（議事内容）

第1号議案・・・2011年度活動報告

第2号議案・・・2011年度収支報告

第3号議案・・・2012年度活動方針

第4号議案・・・2012年度予算

第5号議案・・・2012年度役員改選

第6号議案　　その他

（総会設立要件）：登録者総数 32名、出席者 15名、委任状 9名で規約により過半数以上を満たしているため本総会は成立しました。また、上記の議案について議事が行われ全て承認されました。

審議された各議案の詳細については皆様に配布済の「第13回総会議案書」を参照ください。

★中国でガンバッテまーす！

こんにちは。お久しぶりです。古川翠です。
ひろばの皆さんは、その後お元気にお過ごしですか。
新学期に入り、学習者も支援者も新たな顔ぶれになり、ますます繁栄されていることでしょう。

私は、こちらでの授業も大分軌道に乗ってきました。1年生3クラス、2年生、3年生を2クラスずつ、計7クラス担当しており、毎日準備に追われていますが…。

ひろばでの和気あいあいとした雰囲気での授業が本当に懐かしいです。

先日、1年生のクラスで学内にある茶室を利用し、浴衣を着てお茶会をしました。

皆様方のご健康を祈っております。

by 北京北方工業大学 古川翠



★調べてみました！

・ 誰から見てもこの決定は間違っていると（思う・思わない）

この問題、どちらが正解かわかりますか？

正解は→誰から見てもこの決定は間違っていると（**思う**・思わない）でした。

さてみなさん、ではなぜこれが正解か説明出来ますか？

私は学習者に「この決定は間違っていると思わない、は言いませんか？」と聞かれて説明することが出来ませんでした。

何とかしなくては・・・！と思い、神戸松蔭女子学院大学の池谷先生と一緒に考えてみました。するとこのような結果になりました！

- ・ 思う→推量 例) かわいいと思う、間違っていると思う
- ・ 思わない→断定 例) かわいいと思わない、間違っていると思わない

始めにある「誰から見ても～」から「この決定は間違っている」という意見は自分ではない、他人の意見であるといえます。

つまり！

⇒他人の意見を断定することは出来ないので、断定の意味をもつ「思わない」が使えないということになります。

使えるかどうか微妙ですが、文末に「だろう」などの推量をつけると許容範囲が広まるのではないかと・・・と考えました。

いかがでしょうか？

2人で考えた結果ですので、100%正解かはわかりません。

みなさんの「これは～じゃない？」「いや、こうだろう」というご意見もどんどん聞かせてください！！！！

(山本まみこ)

★金田英里さん「復帰しました」

こんにちは！約3年ぶりに復帰しました。金田英里です。大学を卒業後、海外で合計2年ほど教え、今年の3月に帰国しました。

現在は秋の大学院受験に向けて勉強しながら、ひろば以外でもプライベートで日本語を教えています。

その学生をここで少しご紹介したいと思います。ひろばでお馴染みの佐柳さんから紹介してもらったフィリピン人英語教師のロイさんとオフィさん夫妻で、わたしがロイさんを、佐柳さんがオフィさんを担当しています。ロイさんはもう10年ほど日本に住んでいるのでコミュニケーションは取れますが、日本語の文法のルールがわからず、文字も読み書きできないので、文法と文字指導をしています。やる気もあってとても明るい性格の方なので毎回笑いが絶えません。

これまで海外でわたしが教えてきた学習者のほとんどは日本語をゼロから始めた人か、文法を勉強したことがある人たちだったので、ロイさんのように日本に長く住んでいて生活の中だけで身に付けた日本語を話す学習者に教えるという経験がありませんでした。定着してしまった間違いを直していくのはなかなか大変ですが、新しいチャレンジだと思って楽しんでいます。日本10年目にして、い形容詞の否定形が「～じゃない」ではないことを知ったときの驚きの表情は忘れられません！

最近、第二言語習得論を勉強中なので、毎回「これが中間言語か！」などと思いながら教えています。オフィさんは日本へ来たばかりでゼロ初級なので、佐柳さんが得意の(!!)英語で教えています。



4人で同じ空間で勉強しているので、お互いにちょっかいを出したりもしながら和気あいあいと楽しくやっています。お二人とも日本語を楽しんで勉強してくれているので、今後の成長がとても楽しみです。

【七夕まつり】

7月7日土曜日、七夕まつりが催されました。

たくさんの方が参加されてとても賑やかな雰囲気でした。

七夕とはもとは中国から日本に伝わった



ものですが、韓国やベトナムにもあり各国の祭りの日の過ごし方や「七夕」の日に降る雨の解釈の違いなどが懐かしい「紙芝居」

で聞け、とても興味深かったです。

併せて学習者は初めての浴衣を着て楽しんでいました。みなさんよく似合っていましたよ。

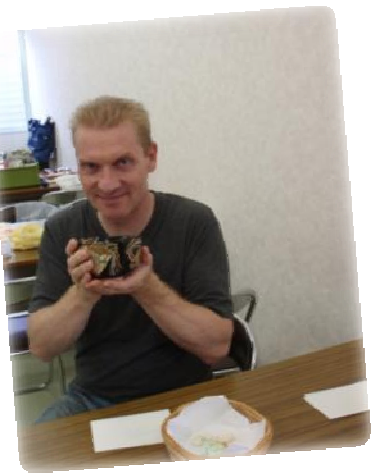
他にも習字や抹茶、折り紙などの体験が用意されてい



ました。そして七夕のメインである短冊に願い事を書きました！

笹の葉に飾られた皆様の願いが叶いますように！





着付けスタッフさん。ホントにホントにお疲れさまでした。みんな大喜びでしたよ。



に男の子誕生

2012年3月19日 Akyas くん。家族でインド帰国されましたが、お便り待っていますよ。元気で。



♡ス
ニルさんカスさん
にお

♡エレナさんに女の子誕生

2012年5月10日 アナスターシユアちゃん
ひろばにお兄ちゃんといっしょに遊びに来て
下さいね。



■お知らせ■

【研修セミナー】

2012年度第1回研修会が7月14日と21日に
行ないます。共に午後1時から3時まで。

テーマは「子どもの第二言語習得について」
です。日本に住む外国にルーツのある子どもた

ちの主な背景、学習における困難、ボランティアにできること（ワークショップ形式）。

講師は、ひろばのOGの田代奈緒子さんです。多くの人の参加を待っています。

【夏休み】

8月はひろばはお休みです。みなさん夏バテしないよう、水分をとって元気にまた9月に逢いまし
ょう。水曜日は9月5日から、土曜日は9月1日から始まります。

【お願い】

7月21日、セミナー終了後、ひろばのお掃除をします。きれいな教室で9月から活動したいので、
是非とも協力をお願いします。

CONTENTS

★巻頭言

風……………1

★学習者紹介

ポリヌちゃん・ユーリーさん・アンドレアさん ……………2

★支援者紹介

明里さん・前田さん・佐藤さん……………3

★新しい仲間ぞくぞく

学生ボランティア3人娘・留学生4人衆・研修生4人組・ビジネスマン二人……………5

★みんなのひろば……………12

【お知らせ】 セミナー・夏休み・お願い

〔編集子のつぶやき〕今号は盛りだくさんでお届けしました。特別号でなんと16ページにもなっちゃいました。フ
ゥー・・・七夕レポートは学生ボランティアのMさんが書いてくれました。頼もしい助っ人ができて、そろそろバト
ンを渡す準備をしようかな？と期待しています。次号も楽しみにしていて下さい。新しい風が吹いています。(M・I)